

ルーター + サーバー + TVチューナー



これを1台?!

富士通

「ファミリーネットワークステーション」

# 実力大検証

盛り上がる各社冬の新製品ラインナップの中で、新たなアプローチで注目を集めているのが富士通のホームネットワーク関連商品だ。なかでも今回新たに加わった「ファミリーネットワークステーション」は、無線LAN対応ルーターにハードディスクを搭載、さらに上位機種にはTVチューナーまでも内蔵した新製品。今回、ファミリーネットワークステーション「FMFNS-101」をいち早く試用する機会に恵まれたので、気になるその機能を徹底解剖してみたい。

text: 大澤文孝

photo: Horoji Kazuo + Tsushima Takao

富士通が満を持して投入!

これは新発想の  
ハードディスク内蔵  
無線LAN対応  
ルーターだ!

パソコンが複数台ある環境では、ブロードバンドルーターを導入し、LANを構築してインターネットに接続する。これはもはや一般的な構成だ。しかしせっかくLANを構築したのだから、企業のLANなどでよく使われているファイル共有やプリンター共有も実現できないだろうか。そんな考えをもつ人も多いだろう。富士通の新製品「ファミリーネットワークステーション」は、まさにそんな人のためにある。

ハードディスクを内蔵するこのファミリーネットワークステーションは、無線ルーターとファイルサーバー、プリントサーバーの3役を1台でこなすコンパクトな製品だ。

構造はブロードバンドルーターと同じ



ファミリーネットワークステーションについて

	FMFNS-101	FMFNS-201
ハードディスク	40GB	80GB
TVチューナー	なし	あり
サイズ	45(W)×223(D)×250(H)mm	
重量	約2.5kg	約2.7kg
ストリートプライス	約6万7,800円	約10万円
	(12月出荷予定)	

なので、設置や設定は簡単。WANポートにADSLモデムやCATVモデムを接続し、LANポートにパソコンを接続するだけでいい。ただしLANポートは1つしか搭載されていないので、複数のパソコンを接続するときにはハブが必要だ。また無線LANにも対応するので、1階と2階の部屋でパソコンを使うような環境での導入も容易だ。

つまり、このファミリーネットワークステーションを使えば、サーバーを構築することなく、ファイル共有、プリンター共有の機能を手軽に家庭内で実現できてしまうのだ。

### ルーターにサーバーが付くと こんなに便利！

ファイル共有機能は単なるファイル置き場としても使えるが、保存したファイルにはウェブブラウザからアクセスできるので、外からインターネット経由でファイルをダウンロードすることもできる。そのため、自宅で保存したデータを会社から取り出すといった用途にも使える。ちなみにファミリーネットワークステーションには「廃棄」というメニューがあり、それを選ぶと本体のハードディスクの内容を完全に消去できるので、機密保持対策も万全だ。

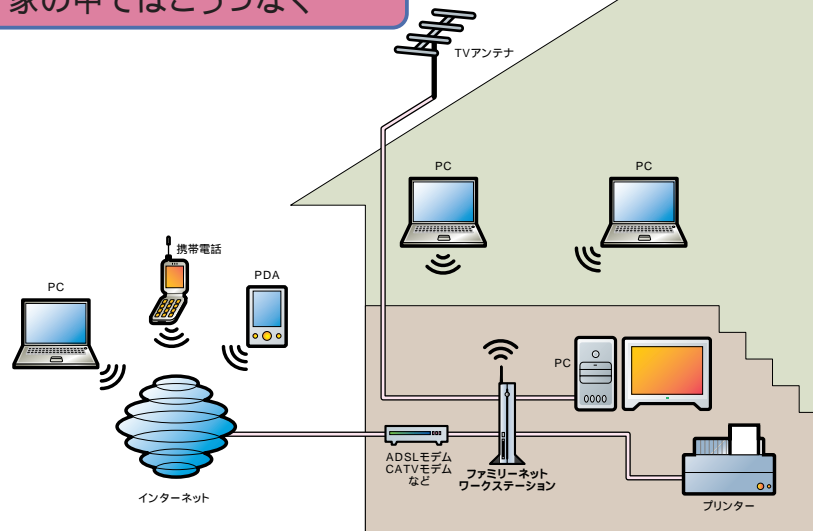
またプリントサーバー機能は無線LANと組み合わせることで便利になる機能の1つだろう。これによって1階にファミリーネットワークステーションとプリンターを設置して、2階のノートパソコンから印刷するといった使い方もできるようになる。

さらに、上位機種「FMFNS-201」にはTVチューナーが付属し、テレビをパソコンで視聴できるほか、録画してサーバーにファイルとして保存することもできる。なお、ファイルやプリンターの共有はウィンドウズ専用だ。そのためマッキントッシュなど他のOSからは利用できない。

実際、ファミリーネットワークステーションは無線ルーターとサーバーを別々に購入するよりも安価で、手軽なサーバーが欲しいという人には十分おすすめできる。次ページからは、本製品の各機能がどれだけの実力を持っているのか詳しく見ていこう。



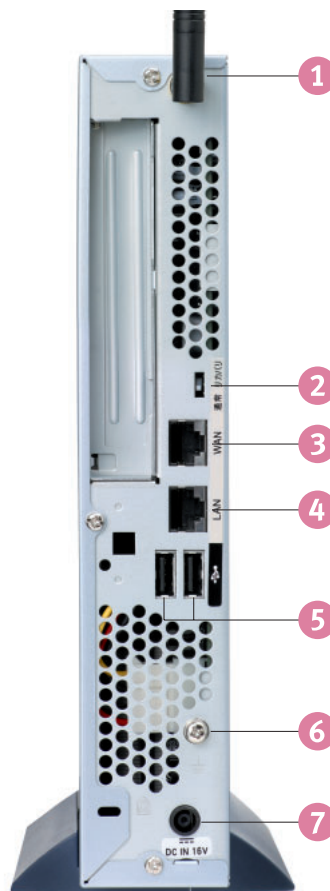
### 家の中ではこうつなく



ファミリーネットワークステーションはブロードバンドルーターと同じように、ADSLモデム(またはCATVモデムなど)とPCの間に接続する。外出先から携帯電話やPDA、PCを使ってファミリーネットワークステーションにアクセスするには「AzbyClub (アズビークラブ)への登録が必要(ユーザー登録を行えば自動的にAzbyClubに登録される)。  
[www.fmworld.net/azby/](http://www.fmworld.net/azby/)



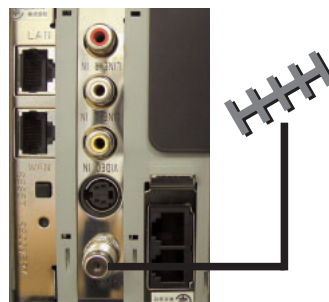
### 背面拝見



- 各部の名称と働き (FMFNS-101)
- ① 無線LANのアンテナ
  - ② システムの復旧を行うときに使う「リカバリースイッチ」
  - ③ ADSLモデムやCATVモデムとつなぐ「WANポート」
  - ④ PCやハブを接続する「LANポート」
  - ⑤ USB対応のプリンターを接続するポート
  - ⑥ アース端子
  - ⑦ ACアダプター接続端子

#### 上位機種にはTV関連端子が付く!

上位機種「FMFNS-201」では、左の写真の左上にあるスロット部分にTVチューナーボードが搭載される。写真はホームサーバー内蔵デスクトップPC「FMVL18BF」のものだが、FMFNS-201にも同じものが搭載される予定だ。



設定は容易ながらも機能は「しっかり」「がっちり」

## NATやパケット制御にも対応、 ルーター機能は十分な本格派！

ルーター機能を持つファミリーネットワークステーションは、インターネットとの通信を司るものだ。そのため他の機能がどれだけ優れていても、ルーター機能がしっかりしていなければ、実用に堪えられない。そこでまず、ルーター機能から見ていくことにしよう。

### 設定はCD-ROMの手順に沿って

ファミリーネットワークステーションは、付属のCD-ROMからセットアッププログラムを起動して設定する。

基本的には、画面に表示される手順どおりに進めていけばよく、サーバー機能、ルーター機能、の順で設定を行う。設定は、無線からでも有線からでもどちらでも可能だ。

セットアップ後にウェブブラウザで「http://192.168.0.1:1082/」にアクセスするとログオン画面が表示される。ログオン画面へのショートカットはウィンドウズの「スタート」メニューやデスクトップに登録されるので、それらをダブルクリックするだけだ。

ウェブブラウザからの操作は、SSLによる暗号化に対応しているため、盗聴され

る恐れはないだろう。ただし、SSLの証明書はVeriSignなどの公的認証局のものでなく独自のものなので、接続時にウェブブラウザに「これは正しい証明書ではない」という警告が表示されるが、気にしないでそのまま設定を継続する。

ルーターの設定は簡単で、接続するプロバイダのPPPoEアカウントを設定するだけだ。DHCPや固定IPもサポートしているので、CATV環境や固定IPアドレスの環境でも問題なく利用できる。

### ルーターのセキュリティは高い

初期設定ではNATが機能し、WAN側からLAN側への侵入ができないようになっている。148ページで説明するサーバー機能はウィンドウズのファイル共有機能を使うが、WAN側に対してはこのサービスが提供されておらず、インターネット側からファミリーネットワークステーションに保存したファイルが盗み見られてしまう心配はない。

必要があればパケットフィルタリング機能を使うこともできるので、よりセキュリティを強化することもできる。

また逆に、静的NAT機能を使って、特定

### サポートするネットワーク機能

- ・WAN側...100Base-TX/10Base-T(×1)
- ・LAN側...100Base-TX/10Base-T(×1)
- ・無線アクセスポイント...IEEE802.11b準拠(1~14チャンネル)

ほか、PPPoE機能、DHCP機能、NAT/IPマスカレード機能、WEPキー(64/128ビット)MACアドレスによる制限、ファイアウォール機能等

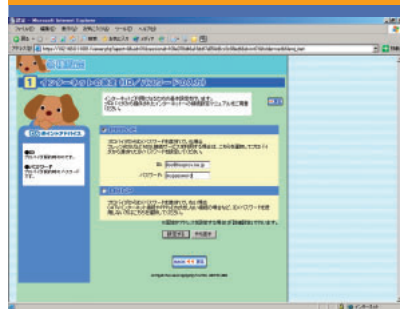
のポートを開くこともでき、ゲームやP2Pソフトを使う場合も問題なくネットワークに接続できる。さらに初期状態では無効となっているが、UPnP機能も搭載されており、UPnP機能をオンにすれば、Windows Messengerなどのソフトも問題なく利用できる。

ちなみに、LAN側のIPアドレスの初期値は「192.168.0.1」で、DHCP機能が有効になっている。

IPアドレスを変更したり、DHCP機能を無効にしたりすることもできるが、LAN側のIPアドレスは、なぜか上位が「192.168」固定となっており、この部分は変更できない(WAN側は任意のIPが設定可能)。

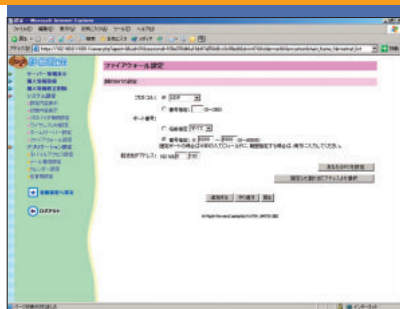
新規に導入する場合には問題ないが、既存のネットワークにファミリーネットワークステーションをあとから追加したいときには、場合によっては既存のネットワークのIPアドレスの調整が必要かもしれない。

### 設定はPPPoEのみ



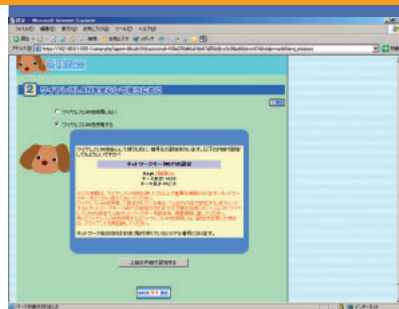
導入時の設定はとても簡単だ。基本的にはプロバイダーのPPPoEアカウントを設定するだけですぐに利用できる。

### 静的NATの設定も可能



必要があれば、静的NATを設定することで、ネットワークゲームやインスタントメッセージ、P2Pソフトなどにも柔軟に対応できる。

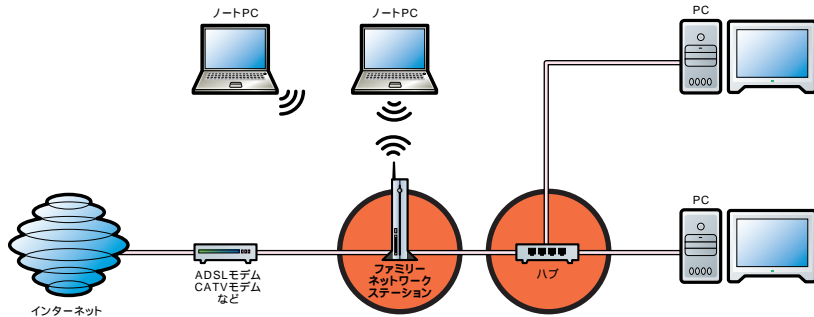
### WEPによる暗号化にも対応



無線LANはWEPによる暗号化にも対応している。必要があれば、MACアドレスによる利用制限を課することもできる。



## ハブを使って複数のPCを使う



ファミリーネットワークステーションのLANポートにLANケーブルを使ってハブをつなげば、複数のPCをLAN接続することができます。この際、LANケーブルにはストレートケーブルを用いる。

### 新着メールを自動でチェック!

さらにユニークな機能に、定期的にもメールサーバーにアクセスし、前面のランプを付けて知らせるといふ「メールチェック機能」がある。受け取ったメールはファミリーネットワークステーション内に記録され、グループウェア機能(148ページ参照)を通じてインターネットから参照することもできる。このときファミリーネットワークステーションはメールのコピーを受信しているだけなので、プロバイダーなどのメールサーバーのメールは削除されない。そのため通常のメールの受信には影響を与えない。

### WEP機能は必ず有効にしておこう

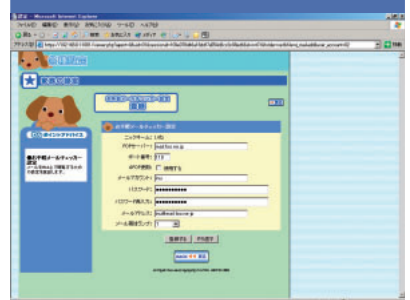
無線LANの通信を暗号化するWEPは初期設定では無効になっているが、インストール直後の画面で簡単にオンにできる。

WEPを利用しないと盗聴などの恐れがあるため、無線LANを使う場合は必ずWEPを有効にしておくべきだろう。

また必要があれば、無線LANカードに記載されているMACアドレスを使って、無線LANを使えるクライアントを制限することもできる。これにより、あらかじめ登録した特定のクライアントからしかネットワークにアクセスできないようにもできる。



### メールの自動チェックもできる!



あらかじめ設定したメールアカウントにメールが届くと前面ランプがつく。これを使えば、メール受信のためだけにパソコンを付けっぱなしにする必要がなくなる。

## この冬、「買い」はどれだ?! 決め手は「サーバー」か「テレビ」の選択だ!

ファミリーネットワークステーションと類似した製品に、東芝のTransCubeや、NECのAX10などがある。これらの製品とファミリーネットワークステーションとの違いは、ずばり、AV寄りか、それともパソコン寄りかという点にあると言える。

TransCubeやAX10は、どちらかと言うとAV寄りの製品だ。テレビを録画して、それをファイルとして保存したり、パソコンで見たりするための用途に向いている。それに対してファミリーネットワークステーションを見ると、こちらはサーバーが主体であり、パソコンで任意のファイルを保存でき、テレビの映像は、単なるファイルの種類のひとつに過ぎない。

TransCubeやAX10は、テレビを録画するための豊富な

機能をもっているものの、ファイルやプリンターの共有機能はない。これらの製品は、あくまでも映像の置き場としてのストレージ機能でしかないのだ。

文章や画像、映像、その他どんなファイルでもサーバーに置ける、それがファミリーネットワークステーションの最大の特徴だ。ネットワーク上に何でも置きたいという用途なら、迷わずファミリーネットワークステーションだ。今回はテレビチューナー機能付きのFNS-201の実機が間に合わなかったため、テレビ機能はホームサーバー内蔵のデスクトップでレビューを行った。12月に発売予定のFMFNS-201のテレビ機能がTransCubeやAX10と同程度の仕上がりということになれば、ファミリーネットワークステーションに十分なアドバンテージがあると言える。

【写真】TransCube 10(東芝)

ストリートプライス: 約12万9,800円

ルーターと無線アクセスポイント機能を持ち、TVチューナーも内蔵。ハードディスクは80GB。

[jump.dynabook.com/pc/catalog/whms/0205201/index\\_j.htm](http://jump.dynabook.com/pc/catalog/whms/0205201/index_j.htm)



グループウェアなどもハードディスク内蔵ならではの!

## ファイルやプリンターも共有、 モバイルアクセスにも対応

ファミリーネットワークステーションは、ファイルやプリンターを共有するためのサーバーとしても使うことができる。ここではこうしたサーバー機能をチェックしよう。

### プリントサーバーとして使う!

ファミリーネットワークステーションのサーバー機能はウィンドウズの「マイネットワーク」から使うことができる(左下画面参照)。ここにある「USBプリンタ」は、USBポートに接続されたプリンターを示す。USBプリンターに適切なドライバーをインストールすれば、ファミリーネットワークステーションに接続されたプリンターをネットワーク経由で利用できる。また「取り込み写真」は、本体の前面にあるPCカードスロットから取り込んだファイルが保存されるフォルダーだ。

### プライバシーにも配慮された ファイル共有機能

「データ」フォルダーは、ネットワークの参加者全員がアクセスできるフォルダーで、「個人データ」は、その人だけがアクセスできるフォルダーだ。この2つのフォルダーに

は、自由にファイルを保存できる。

残りの「お気に入り」「アルバム」「個人アルバム」は、グループウェアと連携した機能だ。「お気に入り」は、皆が共有して利用するブックマークとして機能する。

「アルバム」「個人アルバム」には任意のファイルを保存でき、ファイルの種類に応じて、グループウェア上で「画像」「動画」「その他」にグループ分けされて表示される。

グループウェア上からはファイルを参照したりダウンロードしたりできるだけで、ファイルのアップロードはできない。アップロードは、あくまでもウィンドウズの共有機能を使って行うことになる。

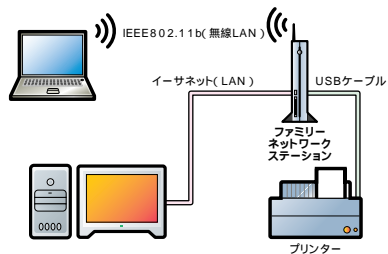
### グループウェアはやや貧弱

グループウェア機能では、スケジュールを入力したり、伝言板を登録したりできる。

だが、これらの機能はお世辞にも十分な機能とは言いえない。スケジュールは年月日だけの設定で、時間の設定ができないし、伝言板も最大20件までしか登録できない。そのため本格的に利用するには十分ではなく、ちょっとした連絡事項の伝達用という使い道しかないだろう。



### プリントサーバーとして使う



USBポートは2つあるが、現在はソフトウェアの仕様上、接続できるプリンターは1台のみ。

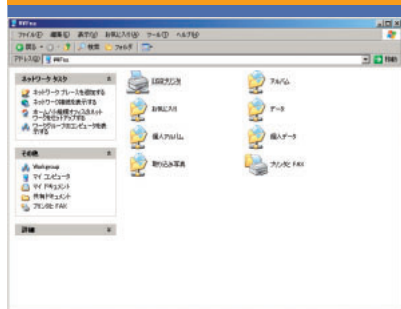
### モバイルからもアクセスできる

前述のグループウェアは、インターネットを経由して外部から利用することもできる。外部から利用するには、あらかじめ富士通のAzbyClubに登録(無料)。URLは145ページの右上図を参照したのちモバイルアクセスの設定をする。

すると独自のURLが割り当てられ、そのURLを使ってパソコンやiモード対応の携帯電話からアクセスできるようになる。外出先からファイルを取り出すには、ファイルを「アルバム」に登録してあらかじめ「公開する」設定しておけばOKだ。

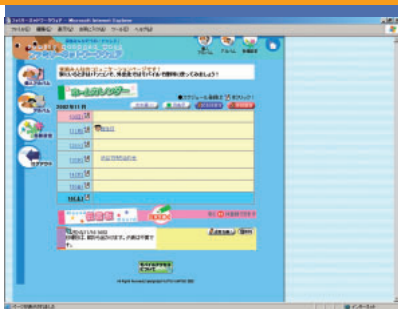
モバイルからの利用でとくに便利なのはメールチェック機能だろう。前項で説明したメールチェック機能を動作させておけば、届いたメールを外出先などから携帯電話で確認できる。

### 用途を問わないファイル共有機能



ウィンドウズの「マイネットワーク」を開いたところ。これらのフォルダーにファイルを保存できる。どのような種類のファイルも保存でき、使い方は無限大だ!

### グループウェアはメモ程度に...



グループウェアにはウェブブラウザを使ってアクセスする。外出先などからのログインも可能。ログイン直後は、スケジュールや伝言が表示される。

### 外出先からでもファイルを参照



「アルバム」や「個人用アルバム」にデータを保存して、「公開する」に設定すれば、外出先からアクセスしても取り出すことができる。

# 先取り!

TVチューナー付きの「FMFNS-201」はどうなる?

## ホームサーバー内蔵のFMVで その機能をいち早くチェック!

残念ながら今回は、テレビチューナー付きの上位機種「FMFNS-201」を評価することはできなかった。そこで代わりに、ファミリーステーションが内蔵されたTVチューナー付きのパソコンである「FMV-DESKPOWER L18B/F」を使ってみた。12月に出荷予定のFMFNS-201にもほぼ同じ仕様のTV機能が搭載されるという。

L18B/Fに付属のTVチューナー機能はウィンドウズから利用するものであり、ホーム

ステーションに接続されたものではない。そのためL18B/Fのテレビ機能は他のパソコンからコントロールできず、録画したファイルはホームサーバーの共有フォルダーに置いて共有することしかできない。

しかしFMFNS-201でも採用される予定の「TVfunSTUDIO」というソフトを使ってコントロールするものなので、操作感は、ほぼ同じといってよいだろう。

### 動画ファイルはMPEG2で

TVfunSTUDIOは、タイムシフトに対応したテレビ視聴・録画のためのソフトだ。録画されたデータは、標準的なMPEG2ファイル形式として保存されるので、他のパソコンで再生することもできる。画質は、720×480ドット / 6Mbps、同 / 4Mbps、352×480ドット / 2Mbpsの3種類となっている。ちなみにL18BFにはDVD-RAMが搭載されているので、そのままDVD-RAMに焼き込むこともできる。

TVfunSTUDIOから起動できるG-

### テレビをPCで見る



TVfunSTUDIOを使ってデスクトップパソコン(FMV/L18BF)でテレビを見ているところ。このソフトはFMFNS-201でも採用される予定だ。

GUIDEというソフトを使うと、インターネットから番組表をダウンロードし、クリックするだけで録画予約ができる。ジャンル分け表示機能や検索機能もあり、見たい番組をすぐに探せて便利だ。

使ってみた感想としては、チャンネル切替時のレスポンスが少々悪い気がするものの、ユーザーインターフェイスはよくできており、全体的な操作感はいい。

L18B/Fではテレビを見たり録画したりできるのはL18B/F自身に限られる。しかし今回は製品の完成が間に合わず試用できなかったFMFNS-201では、TVfunSTUDIOを使ってリモートからテレビを視聴や録画できるほか、出先から携帯電話などで録画予約できるようにもなる見込みだ。

### G-GUIDEによる番組表



番組が一覧表示されるだけでなく、タイトル、出演者などで検索可能。クリックすれば、そのまま録画予約できる。

## ファイルサーバーはSOHOでも使えるほど充実 今後はソフトウェアの充実に期待したい

今回レビューしたファミリーネットワークステーションを総合的に見ると、グループウェア機能の貧弱さは気になるものの、基本的なファイルサーバーとしての機能は完成度が高い。

アカウントを登録するだけで簡単にファイルサーバーを構築できるため、SOHO環境で手軽なファイルサーバーを構築したいという場合にも使えるだろう。そういった用途のために、外付けのネットワークハードディスク 80GB 毛オプションで提供される予定だ(オープン価格)。ただ気にかかるとは、インターネット側からの利用に、かなり制限があるという点だ。

「アルバム」や「個人アルバム」に保存したファイルを出先から見られるものの、保存することはできない。これはセキュリティ的には優れていると言えるが、活用の場が

狭まり、少々残念な部分ではある。

もしそれができるならば、外部とファイルをやりとりするサーバーとしても利用でき、より活躍の場も広がると考えられる。さらに欲を言えば、任意のHTMLファイルを保存したら、それをウェブページとして公開できるウェブサーバー機能も搭載されていればなお良いと思う。

ちなみにファミリーネットワークステーションは、ソフトのバージョンアップによって新たな機能を追加できるように構成されている。

今後追加される予定の機能としては、音楽を保存してストリーミング配信する「音楽サーバー機能」(2002年12月予定)や、青少年に害を与えるウェブページを参照できなくするように制限する「コンテンツフィルター機能」(2003年1月予定)の2つの機能が、ある。



現段階では、ハードウェアの出来の良さに対して、ソフトウェアの機能が「いまひとつ」というのが正直な感想だ。今後のソフトウェアのバージョンアップに期待したい。

【写真】FMV-DESKPOWER L18B/F(FMV/L18BF)

ファミリーネットワークステーションに搭載されたホームサーバー機能を内蔵したデスクトップマシン。ストリートプライスは約32万9,800円。

www.fmwworld.net/product/frame/pcpmozio/deskpower/



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)